

## 文献紹介 1

# ウイルス性疾患に対するオゾン療法

## Ozone Therapy for Viral Diseases

Heinz Konrad, M.D., Sao Paulo, Brazil

Proceedings of 10th Ozone World Congress, IOA, Monaco, 1991

医療法人 社団碧明会 大沢眼科・内科 大沢満雄

キーワード：肝炎・単純ヘルペス・帯状疱疹・エイズ

著者はブラジルで初めてオゾン療法を採用し、科学的方法論を確立した外科医である。オゾン療法は1975年から始め、ウイルス疾患に対しては1979年からの臨床経験をもっている。本稿は肝炎、単純ヘルペス、帯状疱疹、エイズについて過去の報告例を含めた総括的報告である。

### オゾン療法を実施したウイルス性疾患 (1979~1990.8)

疾 患	種 類	患 者 数
肝 炎	A, 急 性	2 9
	B, 急 性	8
	B, 慢 性	1 5
	非A非B, 急性	1
	非A非B, 慢性	3
単純ヘルペス	性 器	1 8 1
	皮 膚	3 1
	口唇/口唇~鼻	3 1
帯 状 疱 疹		4 8
エ イ ズ		5 (8)

## 1. 肝炎

オゾン療法があらゆる種類のウイルス性肝炎に大変有効であることは、何年も前から知られている。特に急性肝炎はあらゆる種類に有効である。オゾン療法により、血清トランスアミナーゼ、アルカリホスファターゼ、ビリルビン値は通常急激に下降し、開始後わずか2週間で正常となる。これらの検査値が下降する前でも、患者の自覚症状の著明な改善がみられる。一般にオゾン療法開始後2~3週間(4~6セッション)すると、すべての症状は消失する。

ここ数年、私は血清トランスアミナーゼ値とオゾン療法の必要期間とは、直接的相関関係があることを確認している。このような直接の相関は、アルカリホスファターゼの初期レベルにおいて著しい。このように急性肝炎の平均例では6セッション、血清トランスアミナーゼ、アルカリホスファターゼ、ビリルビン値が初期から高い例では、8~10セッションが必要である。

慢性ウイルス性肝炎の進展は、通常、どのタイプにおいても緩慢であり、オゾン療法施行例でも同様である。著者は慢性肝炎の症状の軽重を問わず、週1~2回のオゾン療法を行っている。又、慢性肝炎の治療効果の判定は、検査値と全身状態により判断している。この2つのパラメーターは、常にパラレルではない。検査結果がわずかに改善或いは全く改善していなくても、仕事をする能力、食欲、胃腸の具合などの症状が著明に改善することはしばしばみられるので、患者及び医師は失望せずオゾン療法を続けるべきである。

## 2. 単純ヘルペス

皮膚、性器、口唇、口唇~鼻の単純ヘルペスは同じものと理解してよい。

オゾン療法で最もしばしばみられるのは、ヘルペス病巣が急速に消退及び消失することである。20%~25%の患者は、初期の10セッションで発疹が消失するが、75%~80%の患者は、その後6ヵ月以内に再発するようである。

### 3. 帯状疱疹

帯状疱疹に関しては皮疹が治癒し、痛みが軽く（耐えられるレベル）なっても必要な限り長く、3週間に1回の割合でオゾン療法を行うことをすすめる。一方皮疹の治療に加え、強い持続性の疼痛があれば鎮痛剤又はトランキライザーを投与する。又オゾン療法は早期に開始する程効果がある。皮膚疹が発生した日からオゾン療法が行われた場合は特に効果が著しい。

### 4. エイズ

8例に行ったが必要なデータがとれた5例について述べる。症例が5例と少ないため確実なことは言えないが、エイズ患者に対して価値があるように思う。

#### 統計データ

年 齢	28～36歳 (平均30.4歳)
性	女 性
オゾン療法セッション	8～43セッション (平均24.8)
全 治 療 期 間	5～35週 (平均17.8週)
ス テ ー ジ	Stadium II 3人 Stadium III 2人
自覚又は身体状況の改善	最も早い 2週 最も遅い 5週 (平均3.5週)

#### 転 帰

最大4年の追跡を行ったが、II期の3人全員が生存し元気に活動している。

III期の2人はオゾン療法及びあらゆる治療を行っているにもかかわらず悪化している。

#### エイズ患者5人の検査データ

	UP	EQUAL	DOWN
ERY			
HIB			
LEUCO TOTAL			
LYMPHO %			
OKT 4 ABSOLUTE			(*)
OKT 4 %			
OKT 8 ABSOLUTE			(*)
OKT 8 %			
RATIO OKT4/OKT8			

(\*) = one not available

## 文献紹介 2

### 単純ヘルペスと帯状疱疹に対するオゾン療法

—17年間の批判的回顧—